

## 今月のKYT（危険予知トレーニング）

信号機のない交差点に差し掛かりました。

交差点の右側にはスマホを注視している歩行者が見えます。

自車はこのまま交差点を通過したいのですが……。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

### Q どんな危険が潜んでいますか？

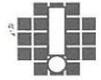


◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 \_\_\_\_\_

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_



## 危険予知ポイント

- ① ながらスマホで交差点に進入してきた歩行者と衝突する。
- ② 左の交差道路から進行してきた車と衝突する。
- ③ 駐車場の車が発進してきて衝突する。

ながらスマホの歩行者の横断を予測する

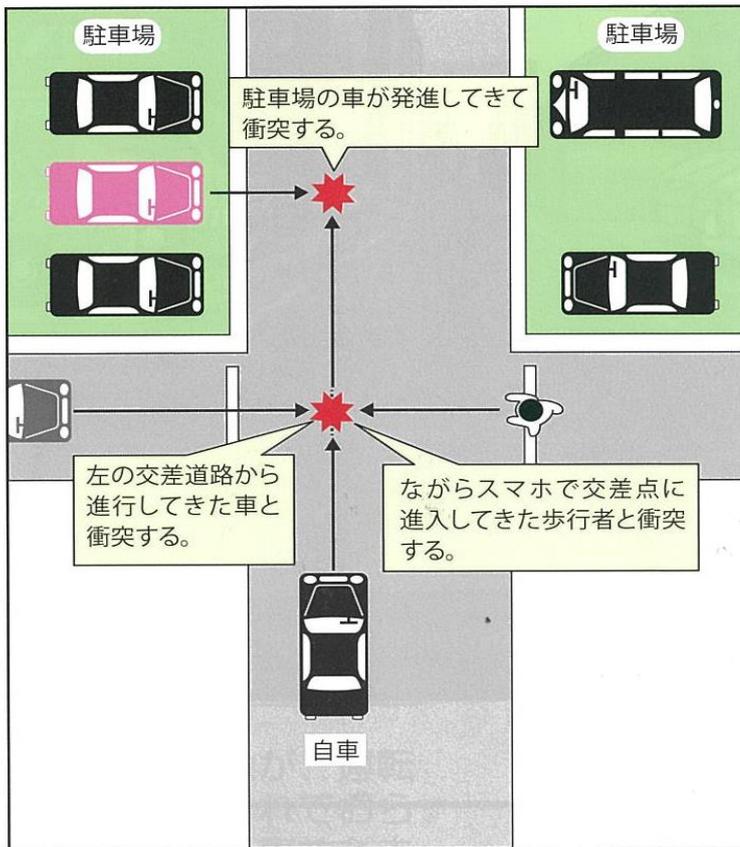
スマホの画面を注視している歩行者は、意識がスマホ画面に集中し、自車の接近に気づいていないことが考えられます。また、車に気づいていても「車は止まってくれるだろう」と考え、道路を横断してくるかもしれません。

ながらスマホの歩行者を見つけるときは、その動静に注意しましょう。

発進してくる駐車車両等を予測する

歩行者をやり過ぎたからといってスピードを上げると、左側から交差道路を進行してくる車や駐車場から発進してくる車と衝突する危険があります。

交差点の状況と駐車車両にも注意して進行しましょう。



ながらスマホの歩行者は自車に気づいていないと考え、いつでも止まれるようにしておきましょう。

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。